



川霧に浮かぶ冬の羊蹄山と朝日

道経連会報 No.252 CONTENTS

巻頭言	1
地域経済活性化に向けた 連携協定	2
第65回北海道経済懇談会	3
釧路地域会員懇談会	27
常任理事会レポート	28
経済施策説明	29
道経連カレンダー	35
特集 高知県議会視察	36
委員会等の動き	37
働き方改革を推進する企業	41
会員企業紹介	44
会員の異動	47
グループ活動報告	48
北海道の経済動向	60
人事・労務相談日	66
まち探訪（シリーズ22）	67
シーニックバイウェイ	70



北海道経済連合会 副会長

青山 陽一

日本通運株式会社札幌支店
常務執行役員札幌支店長

現在、東京都港区に本社を置く弊社は、多くのお客様にご愛顧いただき本年10月1日に創立80周年（創業145周年）という節目を迎えました。この間、社会環境は大きく変化してまいりましたが、私たちはものを運ぶことを通して人、企業、地域を結び社会の発展とともに歩んでまいりました。北海道における弊社の第一歩は同じく昭和12年（1937年）、札幌市中央区北3西2の地でありました。社史によりますと、その数年後に28の支店が道内各地に作られていったようです。因みに現在の支店数は19支店となっております。

さて、ご依頼をいただいてから本稿に何を草するかしばらく思案しておりました。「縁の下の力持ち」とも称される物流企業の1社でありますので、社会貢献の一端でもお話をさせていただこうと思いましたが、「さて、さて、どんな話がいいかな」とまた思案…。

そんな折、札幌での十数人程度の母校OB会に参加したのですが、大先輩ばかりの中で一人だけ初対面の後輩がおり、本稿での内容を決めました。

今からちょうど10年前の社内報の一文です。
「2007年9月29日(土)朝方までの雨が嘘のように、さわやかな青空が広がり、まぶしいほどの陽光が広大な芝生の上に降り注いでいる。ここ夕張市の平和運動公園に1台のマイクロバスが到着した。降り立ったのは(当社)札幌支店の従業員の皆さん。一向が向かったのは、運動公園の周囲に確保された植樹のためのエリア。午後1時、スコップを手に植樹が始まった。…(中略)…夕張市と日通の関係は長く深い。昭和30年代、夕張が炭鉱町として栄えていた頃、当社は石炭の積出しを担っていた。その夕張市が巨額の赤字を抱えて破綻し、財政再建団体に移行したのは今年(2007年)3月のこと。…(中略)…夕張市を応援する動きが全国に広がった。このニュースに接した(当社)札幌支店では、創立70周年の記念行事として、また、会社方針である地球温暖化防止に貢献するため、長年にわたってお世話になってきた夕張市に自分たちの手で植樹をしようという機運が盛り上がり、平和運動公園への植樹が決まった。」

当時の記録を見ると、植樹したのは「エゾヤマザクラ」84本で、北海道の気候等に合い、本州で一般的なソメイヨシノとは異なり20mもの大木に成長する、雄大な北海道に相応しい品種ということで選定されたそうです。

植樹してから5年が経過した2012年に環境条件などからその生育状況が芳しくないとわかったため、「日通育樹会」という「メンテナンス作業」をスタート致しました。これは弊社の

従業員とその家族が鎌やスコップを手に取り、下草刈りや剪定の作業、防腐剤を散布



するというものですが、2016年まで毎年継続しており、諦めないのが、道産子がほとんどの「弊社北海道のスタッフ」の良いところであり、私が最も自慢したい点です。

さて、2017年であります、9月9日(土)に6回目のメンテナンス作業を実施致しました。冒頭でもご紹介しましたとおり弊社が創立してから80年、また執筆の最中に知ったことですが、夕張などを舞台にした日本映画史上に残る名作「幸せの黄色いハンカチ」が公開から40年、そしてついでながら8月に私も還暦とそれぞれ節目を迎えましたので、記念になる「日通育樹会」を実施致しました。

結びになりますが、我が故郷「北海道」の経済発展のために、「縁の下の力持ち」として、これからも尽力してまいります。



植樹されたサクラの木